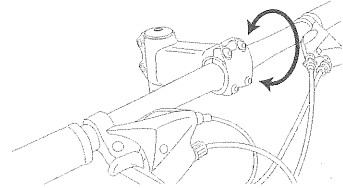
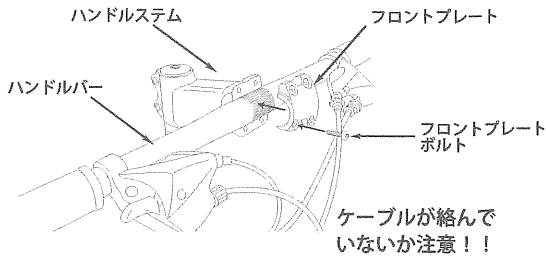


■モデルにより部品の形状が異なります。

STEP1 ハンドルを固定する



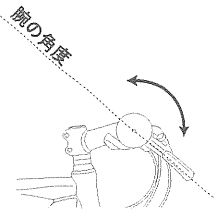
1. 仮止め

フロントプレートボルトでハンドルバーを仮止めて下さい。その時、フロントプレートとハンドルステム本体との隙間が均一になるよう注意して下さい。

また、ハンドルバーの向きと、ケーブルがねじれたり絡んでいないか注意して下さい。ケーブルが引張られると、ブレーキ操作が重くなる等、ブレーキが正常に働きませんのでご注意ください。

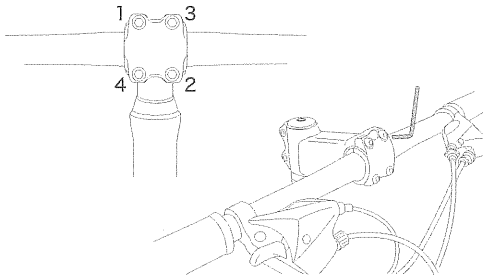
2. 調整

次に、ハンドルバーの角度調整をして下さい。ブレーキレバーの角度は、乗車時の腕のラインの延長線を目安として下さい。



3. 本締め

ハンドルバーの角度調整ができましたら本締めをし、しっかりと固定してください。プレートが斜めですと、ねじ山がつぶれるおそれがありますので、図に示す番号順に均等に締めて下さい。

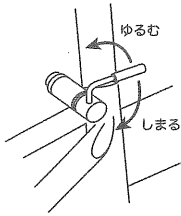


■車種によっては、固定ボルトが2本の場合があります。プレートが斜めにならないよう、上下のボルトを均等に締めて下さい。

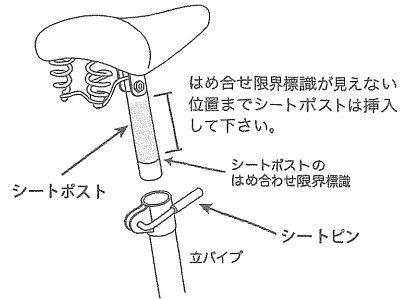
STEP2 サドルを取り付ける

■サドルの高さ調整

サドルに腰を下ろしてハンドルを持ち、ペダルを一番下にした状態で、片方の足をペダルに乗せます。その時、膝が軽く曲がる程度がサドルの高さの目安です。但し、お子様や初心者の方は、両足のつま先が、地面に着く程度に調整して下さい。

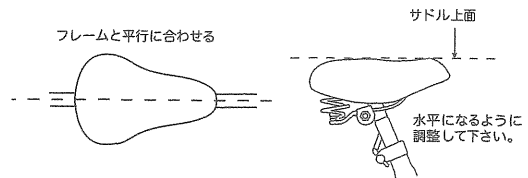


サドルを上下する時は、シートピンを反時計回りに回して緩め、調整後は、時計回りに回して確実にシートポストを固定して下さい。



■サドルの向き

サドルの角度はあらかじめ調整しておりますが、角度をお好みに調整したい場合は、お近くの自転車店にご相談下さい。サドルの前後の角度を極端につけると不安定になり、ブレーキングの際危険ですでお止め下さい。

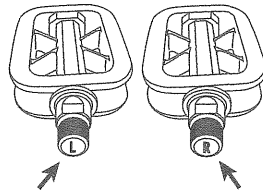


STEP3 ペダルを取り付ける

■左右の確認

ペダルは、右用と左用があります。

ペダルねじの先端に刻印 (R・L) がありますので、左右を確認して下さい。



※左右を間違えて無理にねじ込もうとすると、ねじ山がつぶれますのでご注意ください。

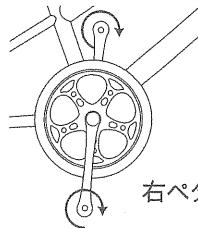
Lの刻印は左ペダル
Rの刻印は右ペダル

■ペダルの取り付け

右ペダルのねじは右回し、

左ペダルのねじは左回しで、

クランクに取り付けて下さい。



左ペダルは左回し

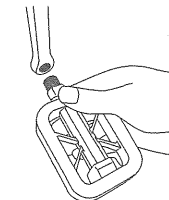
右ペダルは右回し

●斜めにねじを入ると、ねじ山がつぶれる

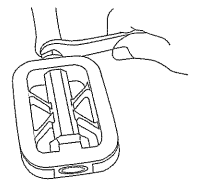
場合がありますので、十分にご注意下さい。

●仮止めの後は、必ず付属工具で強く締めして下さい。

締め付けが弱いと外れる恐れがありますので大変危険です。



ペダルねじはまっすぐに
入れて下さい。



レンチで強く締め付けて
下さい。

STEP4 タイヤの空気を確認する

輸入品につき、管理上空気圧は低めに入っています。そのままでは乗車できない場合がありますので、必ず空気を注入してからご乗車下さい。